

障害への理解に 作業所仕事体験

西区で住民ら

知的障害者が作業所で取り組む仕事を紹介するイベントが22日、広島市西区の三篠小であった。地域住民が作業を体験するなどして、障害への理解を深めた。

市手をつなぐ育成会（西区）などでつくる実行委員会の主催で、約900人が訪れた。来場者は、平和記念公園（中区）に寄贈された千羽鶴を再生紙にするために糸から外す仕事を体験。同小4年の津村有花さん（9）は「この紙でできたノートをぜひ使ってみたい」と話していた。

体育館では障害者支援施設いくせい（西区）の約40人が踊りを披露。育成会の支部や市内の作業所で作ったク

ッキーやキーホルダーの販売もあり、作業所のメンバーたちと来場者が交流を深めた。

2013年（平成25年）9月23日（月曜日）